

バックアップ

パソコンのトラブルに備えて、入力したすべてのデータのコピーをおこなうことをバックアップといいます。

バックアップの設定

[基本設定](#)のバックアップタブ (右図) でおこないます。

起動時に日毎バックアップをおこなう

チェックすると、バックアップ A・B とは別にハードディスク内の既定のフォルダ (C:¥Raku n) にバックアップします。

チェックを強く推奨

日毎バックアップを残す日数

設定した日数、日毎バックアップを残し、経過後はその後の日毎バックアップで上

書きします。ハードディスク残容量によりますが、7 日程度以下を推奨

バックアップ先 A・B

メニューバーからのバックアップ、終了時のバックアップの保存先の設定。

容量 16GB 以上の USB メモリか外付けハードディスクを用意し、そのドライブ・フォルダをバックアップ先 A・B 参照ボタンを押し (右図) 指定します。

A・B とともに、USB メモリ、外付けハードディスクを推奨

終了時のバックアップ

バックアップ A、バックアップ B、どちらか選択を推奨

終了時にバックアップする時間差

らくほん Next 終了時のバックアップを、前回の終了から何時間後の終了時からおこなうかを設定

メニューバーからのバックアップ

[基本設定](#)で、起動時の日毎バックアップ、終了時のバックアップ、いずれもしない設定にしている場合は、必ずメニューバーからバックアップ A・B からバックアップをおこなってください。

それ以外でも、[請求書](#)作成など重要な処理をする前に、メニューバーからバックアップ A・B (のどちらか) をすることを推奨します。

複数のパソコンで使用される場合

起動時・終了時のバックアップは、サーバーパソコンで操作される場合に有効です。普段、サーバー PC でらくほん Next を使用されない場合は Windows 付属のタスクスケジューラ機能をご利用ください。詳しくは [→タスクスケジューラによるバックアップ](#)

